



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学工業株式会社
 コード番号 4092 URL <http://www.nippon-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 義博
 (氏名) 佐藤 学

TEL 03-3636-8038

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	26,939	△1.8	1,366	138.4	1,477	180.4	1,294	196.5
26年3月期第3四半期	27,441	10.7	573	—	526	—	436	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,956百万円 (114.8%) 26年3月期第3四半期 911百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	14.71	—
26年3月期第3四半期	4.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	59,282	26,791	45.2
26年3月期	56,736	25,228	44.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 26,791百万円 26年3月期 25,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.5	1,600	86.1	1,500	82.2	1,000	48.6	11.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	89,227,755 株	26年3月期	89,227,755 株
27年3月期3Q	1,254,903 株	26年3月期	1,253,400 株
27年3月期3Q	87,973,678 株	26年3月期3Q	87,976,946 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種経済政策や日銀による金融政策等を通じて、企業収益の改善や設備投資の増加等、全体として緩やかな景気回復基調で推移しました。しかし一方で、消費税増税後の個人消費の落ち込みの長期化や、円安による輸入原材料価格の高止まり等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は中期経営計画に掲げる「選択と集中の推進」、「販売戦略の実践」、「コスト削減の更なる追求」という3つの重点戦略を持続的な成長に向け、全社一丸で進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は269億3千9百万円（前年同期比5億1百万円減）となり、経常利益は14億7千7百万円（同9億5千万円増）となりました。

この経常利益に受取補償金3億1千3百万円等の特別利益合計4億1千6百万円、固定資産除却損5千7百万円等の特別損失合計8千9百万円及び法人税等3億5百万円を加え、更に法人税等調整額2億5百万円を計上した結果、四半期純利益は12億9千4百万円（同8億5千7百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき業界をはじめとした国内需要の落ち込みにより、売上高は減少しました。燐製品は半導体業界を中心に順調な出荷が続いたものの、電池関連及び光学機器向けの需要が低迷したことから、売上高は減少しました。シリカ製品は紙パルプ業界向けの需要は低調に推移したものの、土木関連向けや環境関連向け出荷が好調に推移したため売上高は増加しました。この結果、化学品事業の売上高は、128億2千2百万円（同5億3百万円減）となりました。

②機能品事業

機能品事業では、農業は出荷が順調に推移し、売上高は増加しました。ホスフィン半導体向けに出荷が順調に推移し、売上高は増加しました。ホスフィン誘導体は海外ユーザー向けに出荷が低迷し、売上は減少しました。バリウム製品はパネル向けが低調に推移し、売上高は減少しました。リチウムイオン電池用正極材料は大手ユーザーの生産調整により、売上高は減少しました。電子セラミック材料はスマートフォンや自動車業界向けの電子部品需要が好調に推移し、売上高は増加しました。回路材料は大型パネル向けの不振は続いているものの、中・小型パネル向けの需要が順調に推移し、売上高はほぼ横ばいとなりました。この結果、機能品事業の売上高は、104億9千万円（同4千2百万円減）となりました。

③賃貸事業

賃貸事業は、堅調に推移しました。この結果、賃貸事業の売上高は、3億7千万円（同1千3百万円減）となりました。

④その他

書店事業は業界の低迷が続いておりますが、空調関連事業は、新規施工のほか、メンテナンス部門の需要も好調に推移しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、32億5千6百万円（同5千7百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25億4千6百万円増加し、純資産は15億6千3百万円増加しております。その結果、自己資本比率は44.5%から45.2%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が8億3千8百万円増加し、受取手形及び売掛金が20億8千9百万円増加し、商品及び製品が3億3千3百万円増加し、原材料及び貯蔵品が6億9千7百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が16億4千6百万円減少し、無形固定資産が3億5千6百万円減少し、投資有価証券が9億2千7百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が15億5千万円増加し、短期借入金が15億8百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が20億円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が9億1百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が5億6千2百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月11日に公表いたしました通期の連結業績予想と比較し、営業利益及び経常利益は、電材関連製品の需要増や収益改善策の成果等によって、増加することが見込まれます。

また、当期純利益につきましては、当期中に工場跡地再開発費用の発生が見込まれますが、現在精査中であることから、前回発表値を据え置き、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

以上より、平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、営業利益及び経常利益を修正いたしました。

平成26年11月11日の第2四半期決算短信で発表しました連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成26年11月11日発表) (A)	36,000	1,300	1,200	1,000	11.37
今回発表予想 (B)	36,000	1,600	1,500	1,000	11.37
増減額 (B-A)	0	300	300	0	—
増減率 (%)	0.0	23.1	25.0	0.0	—
(参考) 前期実績 (平成26年3月期)	36,195	859	823	672	7.65

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1億5千6百万円減少し、退職給付に係る負債が2億3千6百万円増加し、利益剰余金が3億9千2百万円減少しております。また、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,986	7,824
受取手形及び売掛金	8,649	10,738
商品及び製品	3,333	3,666
仕掛品	1,901	1,969
原材料及び貯蔵品	1,863	2,560
繰延税金資産	712	568
その他	478	483
貸倒引当金	△15	△19
流動資産合計	23,909	27,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,769	29,859
減価償却累計額	△18,874	△19,424
建物及び構築物 (純額)	10,895	10,434
機械装置及び運搬具	1,610	1,843
減価償却累計額	△1,102	△1,158
機械装置及び運搬具 (純額)	507	684
土地	7,906	7,838
リース資産	7,650	7,642
減価償却累計額	△2,948	△4,158
リース資産 (純額)	4,701	3,483
建設仮勘定	239	318
その他	6,043	5,999
減価償却累計額	△5,443	△5,555
その他 (純額)	600	444
有形固定資産合計	24,851	23,204
無形固定資産		
のれん	1,613	1,283
その他	302	275
無形固定資産合計	1,915	1,558
投資その他の資産		
投資有価証券	4,531	5,458
長期貸付金	70	121
繰延税金資産	72	67
退職給付に係る資産	163	—
その他	1,430	1,289
貸倒引当金	△208	△210
投資その他の資産合計	6,060	6,727
固定資産合計	32,826	31,490
資産合計	56,736	59,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,220	4,771
短期借入金	9,318	7,809
リース債務	691	689
未払法人税等	250	146
未払消費税等	332	134
賞与引当金	308	118
工場跡地整備費用引当金	1,053	478
設備関係未払金	383	411
その他	2,657	2,597
流動負債合計	18,216	17,156
固定負債		
長期借入金	1,000	3,000
リース債務	7,112	6,594
繰延税金負債	2,107	2,485
退職給付に係る負債	1,707	2,115
その他	1,364	1,138
固定負債合計	13,291	15,334
負債合計	31,508	32,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	16,225	17,127
自己株式	△350	△350
株主資本合計	23,902	24,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,335	1,897
繰延ヘッジ損益	4	13
為替換算調整勘定	6	12
退職給付に係る調整累計額	△19	64
その他の包括利益累計額合計	1,325	1,988
純資産合計	25,228	26,791
負債純資産合計	56,736	59,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	27,441	26,939
売上原価	22,894	21,843
売上総利益	4,547	5,095
販売費及び一般管理費	3,974	3,729
営業利益	573	1,366
営業外収益		
受取利息及び配当金	66	73
持分法による投資利益	35	47
為替差益	96	214
その他	99	101
営業外収益合計	298	436
営業外費用		
支払利息	253	241
その他	91	84
営業外費用合計	344	325
経常利益	526	1,477
特別利益		
受取補償金	—	313
受取和解金	—	20
関係会社清算益	—	65
固定資産売却益	20	17
投資有価証券売却益	100	—
特別利益合計	121	416
特別損失		
減損損失	—	31
固定資産除却損	54	57
特別損失合計	54	89
税金等調整前四半期純利益	593	1,804
法人税、住民税及び事業税	60	305
法人税等調整額	95	205
法人税等合計	156	510
少数株主損益調整前四半期純利益	436	1,294
四半期純利益	436	1,294

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	436	1,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	457	562
繰延ヘッジ損益	—	9
退職給付に係る調整額	—	84
持分法適用会社に対する持分相当額	16	5
その他の包括利益合計	474	662
四半期包括利益	911	1,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	911	1,956

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,326	10,532	384	24,243	3,198	27,441	—	27,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	—	20	37	156	194	△194	—
計	13,343	10,532	405	24,281	3,355	27,636	△194	27,441
セグメント利益又は損失(△)	343	△222	243	364	192	557	16	573

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,822	10,490	370	23,683	3,256	26,939	—	26,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	20	34	158	193	△193	—
計	12,836	10,490	391	23,718	3,414	27,133	△193	26,939
セグメント利益	390	512	233	1,136	216	1,353	13	1,366

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結計算書の営業利益と調整を行っております。